

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館で夏休みイベント「けせんぬま防災きっずスクール – 東北大学災害科学国際研究所の日 –」を開催しました（2022/7/31）

テーマ：子ども向け、防災教育

会場：気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）

URL：<https://www.kesennuma-memorial.jp/event/detail.php?id=104>

7月31日（日）、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館（宮城県気仙沼市）を会場に「けせんぬま防災きっずスクール–東北大学災害科学国際研究所の日–」を開催しました。これは同館の夏休みイベントの一環で、当研究所気仙沼分室とのコラボ企画としての開催でした。1～4時間目までの授業と実技・実験を組み合わせて、4名の教員が授業を、2名の教員がサポートや相談対応を行いました。

1時間目はサッパシー・アナワット准教授（津波工学研究分野）が「津波ハザードマップで紐で距離測って避難時間を計ろう」、2時間目は福島洋准教授（陸域地震学・火山学研究分野）が「ガラクタでわかる“地震の起こり方実験”」、3時間目は榎田竜太准教授（地震工学研究分野）が「建物ってなんで揺れるの?」、4時間目は佐藤健教授（防災教育実践学分野）がオンラインにて「ぼうさい宝探し～海の子ホヤぼーやからの密命～」を行いました。また佐藤翔輔准教授（防災社会推進分野）と濱家由美子助教（災害精神医学分野）は、「きみは何がしてみたい？自由研究四次元ポケット！」をテーマに、自由研究の相談対応を行いました。

実験では、それぞれが「これをやったらどうなるだろう」と試行錯誤を重ねながら観察をしていました。

当日は、新型コロナウイルス感染症が拡大中ではありましたが、各回10名程、のべ40名が参加し、小学生から大人まで幅広い年齢層の人達が、一緒に楽しみ協力しながら取り組むことができました。参加者からは、こんなに色んなことを勉強できるとは思わなかった、色んな年齢の人が楽しめるように作られていてとても楽しめた、などの感想がありました。



1時間目 サッパシー准教授



2時間目 福島准教授



3時間目 榎田准教授



4時間目 佐藤健教授
 （オンライン）



随時開催 濱家助教



4時間目の修了証授与の様子
 （佐藤翔輔准教授）